

⑦ 管内の特産品に着目した広域連携の誘客イベントの取組【後志管内商工会青年部連合会】

後志管内商工会青年部連合会

後志管内商工会青年部連合会は、昭和42年10月に結成され、現在、神恵内町、共和町、真狩村、喜茂別町、留寿都村、ニセコ町、蘭越町、京極町、黒松内町、寿都村、島牧村、仁木町、積丹町、古平町、赤井川村の後志管内の15町村の商工会青年部で構成。

連合会の主な取組は、活動の基盤となる組織の強化を図るための事業や構成部員の能力向上のための事業、地域経済の活性化を促すための事業。

○ 所在地：虻田郡真狩村字真狩35番地（真狩村商工会内）

○ TEL：0136-45-2126

広域連携の取組のポイント

地域経済を活性化させるためには人の動きが重要であるものの、後志管内の一部地域で外国人観光客の入り込みによる活性化がありました。管内では地域間の差がありました。

「後志管内商工会青年部連合会」は、管内全体で連携した取組を行い、管内全体の底上げのため、人の動きを誘導する仕組みづくりとして、特産品のPRを目的とした、地域の食材による「バーベキュー」のイベントを始めた事例です。

地域の状況

後志管内は、特色のある地場産品がありますが、全体で連携した取組とはなっていませんでした。

こうした中、神恵内村の発案により、管内の青年部員が集う場に、各地域の特産品を一堂に持ち寄る機会ができ、回を重ねるごとに、自分の地域の特産品は日常的すぎて製品の価値に気がつかないものの、他の地域から見れば、十分に価値が高いとして受け止められる等の理解がされました。

取組の背景

地域経済を活性化させるためには、人の動きが欠かせませんが、観光客の動きを見ると、管内の一部地域では、外国人観光客の誘致で活性化の効果が見えてきているものの、他地域とは差もあり、管内全体を底上げするためには、人の動きを全体で誘導する仕組みが必要でした。

このため、「後志管内商工会青年部連合会」では、地域を知ってもらうために、特産品に着目したPRとして、地域への経済波及効果が高い「バーベキュー」に着目したイベントを企画しました。

取組の内容

イベントの実施は、「地域振興対策事業」として「後志BBQサミット」として、平成27年に第1回目を神恵内村で開催しました。開催には各商工会青年部が中心となり、生産者をはじめ地元の協力を得ながら特産品である食材を調達、バーベキュー方式の利点である、「ワンプレートで地域食

材の本来の風味を堪能」できる企画としました。

このため、食材自体の質の高さを感じることができた参加者をはじめ、イベント開催の協力者からも地域の中で広域的な取組ができたこと、多くの好評が寄せられました。2回目の平成28年は京極町で開催しましたが、札幌方面からの距離の近さもあり、500人を超える盛況となりました。

また、青年部連合会ではこのイベントに合わせて、管内の食材・観光紹介パンフレットを作成し、サミットで提供された各地域の食材を詳しく紹介するとともに、飲食できる場所も紹介しました。

さらに、特産品を飲食しながら管内を周遊できる「観光モデルコース」も掲載しており、後志地域へ訪れる人たちへのPRに、大いに役立っています。

今後の展開

青年部連合会では、地域の活性化を図るためには、自分たちで何とかしなければならぬと始めましたが、2回の開催を通じて、後志管内を知ってもらう取組として再認識することができました。

平成29年の開催に向けて、青年部連合会の「結成50周年」に当たることから、50周年イベントとしての取組を視野に検討しています。

これまでの2回は夏期に開催してきましたが、ニセコのスキー場を中心に冬期に外国人観光客が多数訪れていることや、バーベキューが外国人にとって馴染みやすいイベントであることなどから、外国人観光客の誘客対応として、冬期のスキー場での「BBQサミット」も検討しています。

また、平成28年9月に、管内の女性旅館経営者を中心に様々な女性が集い、自らが体験した観光情報や観光ルートを発信しながら、観光振興を進め、地域を活性化しようとする「しりべし女子会（しり女）」が設立されましたので、連合会としても、今後は、女子会との連携した取組を検討しています。